

令和2年度事業報告

全国の犯罪発生件数（刑法犯認知件数）は、平成15年以降一貫して減少傾向を示し、令和2年中も対前年比13万4,328件（17.9%）減の61万4,231件となり、防犯カメラの普及による防犯対策の強化に加え、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛が影響したとみられる街頭犯罪の大幅な減少など、6年連続で戦後最少を更新している。

しかし、特殊詐欺の認知件数は被害額とともに減少したものの、依然として高水準にあり、特に手口が類似する犯罪として、事前に電話で資産状況を聞き出した上で犯行に及ぶ強盗被害が首都圏を中心に発生するなど、厳しい状況が続いている。また、子どもや女性が被害者となる犯罪や国民に不安を与える凶悪事件が後を絶たず、犯罪情勢は予断を許さない状況にある。

一方、島根県の犯罪発生件数は、平成16年から概ね減少傾向を示し、令和2年中は対前年比374件（16.2%）減の1,936件となり、ピークであった平成15年（9,217件）の約21.0%となったが、殺人・放火・強盗等凶悪事件の発生があったほか、子どもに対する声かけ・つきまとい事案は、ここ数年100件以上の発生で推移し、昨年は前年に比較し約4割（41.4%）増加したほか、年々悪質巧妙化する新しい手口の特殊詐欺による被害が後を絶たないなど、県民が真に安全で安心して暮らせることを実感できる体感治安を向上させるためには、まだまだ取り組むべき課題が残されている。

当会では、令和2年度事業計画及び県内における犯罪発生状況などその時宜に応じ、警察本部、各地区防犯協力会等と連携を図りながら「街頭防犯カメラの拡充整備」、「通学路における子どもの見守り活動」、「高齢者をはじめとした特殊詐欺被害防止のための啓発活動」などの事業を重点的に推進したほか、県民の自主防犯意識の高揚や、地域や職域における自主的な安全・安心諸活動の継続に資する各事業を推進し、安全で安心なまちづくりに寄与した。

実施項目	実施事項及び内容
1 地域安全意識の高揚と地域安全活動の広報啓発	(1) <u>機関紙「防犯しまね」の発行</u> 振り込め詐欺被害防止対策、子どもの安全確保対策、少年の非行防止と健全育成、県内各地域の活動状況、防犯に関する意見・提言、犯罪統計等各種の情報を盛り込んだ機関紙「防犯しまね」を発行し、県内全世帯に回覧、配付する等して防犯意識の高揚・啓発に努めた。 ・第132号 令和3年1月合併号（28,900部）

	<p style="text-align: right;">計 28,900部</p> <p>(2) <u>県防連ホームページを活用しての広報啓発</u> ホームページを適時更新し、防犯連合会の事業、地域ボランティアの活動紹介のほか犯罪情勢や各種犯罪への注意喚起など情報発信及びボランティア活動等に活用できる資料の掲載などにより啓発に努めた。(QRコードの活用によるHP閲覧)</p> <p>(3) <u>ラジオスポット放送による啓発</u> 高齢者が特殊詐欺で多額の被害を被っている現状を踏まえ、その被害を防止するため、歳末特別警戒期間中の12月、BSS山陰放送「音楽の風車」などの番組において注意を呼びかけた。 ・「特殊詐欺に注意」(20秒スポット) 9本放送</p> <p>(4) <u>ポスター等の作成・調達と掲出</u> 「犯罪のない安全で安心なまちづくり旬間」(10月)をはじめとした防犯運動や各種の犯罪被害防止を呼びかける全国统一ポスター、チラシ等を調達し、各地区防犯協会、警察署を通じて県内各地に掲出して地域安全等の意識高揚に努めた。 ○まちづくり旬間(全国地域安全運動) ・全国统一ポスター(B3) 150枚 ・リーフレット 350枚 ○特殊詐欺被害防止リーフレット 20,000枚 (中国遊技機商業協同組合からの寄贈) ○図書カード 580枚 「みんなでつくろう日本一安全で安心な島根」</p> <p>(5) <u>防犯ポスター・標語の募集</u> 全国地域安全運動(10月)に向け、(公財)全国防犯協会連合会、警察庁等が募集する「防犯統一ポスター」と「統一標語」について、各地区防犯協会、警察署などを通じて募集を行った。</p>
<p>2 防犯団体の育成及び防犯ボランティア活動に対する協力援助</p>	<p>(1) <u>令和2年度「犯罪のない安全で安心なまちづくり大会・地域ボランティア交流会」</u> 令和2年度「島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり旬間」の実施に併せ、島根県・島根県警察本部・島根県教育委員会の主催により開催予定であった標記の大会は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となったが、令和2年10月17日警察本部において、表彰の伝達を行った。 ○ 島根県知事による 犯罪のない安全で安心なまちづくり啓発ポスター入賞者表彰 ○ 当会顧問(島根県警察本部長)による全国防犯功労者、防犯荣誉金章・同銀章・功労ボランティア団体・防犯功労団体</p>

表彰の伝達

(2) 「大規模災害発生時における防犯活動緊急支援助成事業」に団体登録更新

(公財) 日工組社会安全研究財団が行う「大規模災害発生時における防犯活動緊急支援助成事業」に団体登録の更新を行った。

※ 大規模災害発生時に防犯活動に必要な資機材の購入等に100万円を上限とする助成がされるもの

(3) 「防犯手帳」の配付

「防犯手帳」は、各種防犯活動のノウハウが多く登載され、防犯活動必携手帳として多くのボランティアに重宝されていることから、各地区防犯協会や職域防犯団体へ無償配付(100部)したほか、希望者への斡旋を行った。

(4) 防犯パトロール用「青色回転灯」の貸出し

青色回転灯装着車によるパトロール団体は、令和3年3月末現在で、161団体2,290台が活発な活動が展開し、「青色回転灯」の貸出し需要も多くなっている。

令和2年度も「黄色い手帳運動」から新たに20台の寄贈を受けたほか、各署の要求に応じて更に70台購入し貸し出した。

(5) 地域安全推進員連絡協議会総会・研修会への参加、支援

※ 令和2年度は中止 (書面表決)

(6) 職域防犯団体等諸会議への参画

本報告書記載の会議のほか、

- ・「島根県特殊詐欺撲滅対策推進本部連絡会議」

10/6 縮小開催につき不参加

- ・「島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会」
(書面表決)

- ・「青少年育成島根県民会議」 (5/22書面表決)

- ・「犯罪に強い社会の実現のための島根県民会議」(書面表決)

等の諸会合は、いずれも新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、書面決議等により会同による開催は実施されなかった。

なお、「島根県防犯設備協会設立総会」(2/25)が開催され、当会専務理事が同会顧問に就任した。

また、全国防犯協会連合会専務理事会議は初のリモート開催となったが、他県の効果的な事業等について本県事業に反映されるよう努めた。

(7) その他各種月間等に対する支援

全国地域安全運動(旬間)をはじめ、青少年の非行・被害防止全国強調月間、薬物乱用防止強化期間、歳末警戒、特殊詐欺被害

	<p>撲滅月間など季節ごとに展開される各種地域安全活動に際しポスター、リーフレット、チラシ、防犯読本等を関係団体等へ配付するなどして支援した。</p>
<p>3 防犯設備・防犯資器材のあっせん及び紹介</p>	<p>「街頭防犯カメラ」ほか各種防犯器材の斡旋配布</p> <p>街頭防犯カメラは、犯罪に対する大きな抑止力となるものであり、この普及に努めたほか、JA共済連から今年度も100台の寄贈を受け、県内各地に設置された。（JA共済連からは平成28年度から寄贈を受け、これまで通算480台をとった。）</p> <p>また、本年度は、これまで寄贈を受けた防犯カメラについて、</p> <p>平成28年度寄贈分 54カ所62台（6月実施）</p> <p>平成28・29年度寄贈分 58カ所65台（2月実施）</p> <p>の保守点検を実施した。</p>
<p>4 各種犯罪の抑止と検挙活動に対する協力支援</p>	<p>県民に不安を与える各種犯罪被害の抑止対策</p> <p>県内では、子どもに対する声かけやつきまとい事案も増加傾向にあるなど、県民が安全・安心を肌で感じる体感治安は未だ良好とは言えない状況にある。</p> <p>また、全国的に子どもが被害となる凶悪事件が発生したことを受けて、平成30年6月、関係閣僚会議において決定された「登下校防犯プラン」に基づき、学校、警察、地域ボランティア等と連携して通学路等における防犯対策を鋭意推進しているところである。</p> <p>このような情勢等を踏まえ、通学路の安全対策など子どもや女性の犯罪被害防止、悪質巧妙化する特殊詐欺による高齢者の被害防止に重点を指向した事業を展開したほか、地域安全意識等に係る啓発活動の充実、地域ボランティアの活動の支援による地域や職域における自主的な安全安心諸活動の促進、青少年の健全育成活動にかかる事業を推進し、安全で安心な地域社会づくりに寄与した。</p> <p>(1) 子どもと女性の犯罪被害防止</p> <p>ア 「街頭防犯カメラ」の普及・促進</p> <p>街頭防犯カメラの設置は、犯罪抑止、通学路における子どもや女性の安全確保に極めて有用であり、警察本部も平成23年からこの普及を進められているところである。当会もこれに協力し「街頭防犯カメラ」の普及による犯罪の抑止に努めた。</p> <p>イ マニュアル、冊子、DVD、ポスター、絵本等の配布</p> <p>・ 「女性安全マニュアル」の配布 (180部)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・「住居侵入犯罪被害防止冊子」の配布 (2, 720部) ・「ストップ! 子どもの犯罪被害」DVDの配布 (13枚) ・「ちびゴジラとおぼえよう イカのおすし」の配布(190部) * 「子どもをまもる大きな絵本シリーズ～『防犯たすけて!』 (18部) * 「スマホの安全な使い方教室」DVD (6枚) <p>注) *は警察本部を通じて、各警察署、広域交番等に貸出し</p> <p>(2) <u>特殊詐欺被害防止</u> 高齢者を対象とした架空請求等を装った新しい手口の特殊詐欺等の実態を広く広報し、被害を未然に防止するため詐欺被害防止ハンドブックを高齢者教室等で活用したほか、イベント、街頭啓発等で配付するなど効果的に活用し、啓発に努めた。 また、新たに「特殊詐欺被害防止コールセンター」事業に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託期間～令和2年10月1日から令和3年3月31日(6ヶ月間) ・業務内容～架電による特殊詐欺に対する注意喚起 ・架電完了～目標1万件 <p>(3) <u>薬物犯罪抑止活動への協力</u> 薬物乱用防止ハンドブックの活用等により、覚せい剤、MDMA(合成麻薬)、大麻、シンナー等、薬物の乱用実態とその有害性を訴え、薬物乱用を拒絶する社会環境づくりを進めた。</p> <p>(4) <u>「暴力追放運動」や「けん銃等違法銃器根絶運動」への協力</u> ア 風俗営業管理者に対する指導、講話 島根県暴力追放県民センターから資料を入手し、「風俗営業管理者講習」(後掲)の場を活用し、その配付や講話を行い、暴力追放や銃器の根絶機運の醸成に努めた。 イ 暴力追放・銃器根絶島根県民大会～中止</p>						
<p>5 少年を守る活動及び少年の非行防止と健全育成活動に対する協力支援</p>	<p>(1) <u>中学生を対象とした防犯作文コンクールの実施</u> 少年の非行防止と健全育成を目的に、県下の中学生を対象に防犯作文の募集を行い、13校から25編の応募を得、審査の結果3編が優秀として中国防犯連合会連絡協議会会長表彰を受賞、5編について会長と警察本部長連名の表彰を行い、応募者全員に参加賞を贈呈した。 中国防犯連合会連絡協議会優秀賞</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">大田市立第一中学校</td> <td>石田 椋乃 さん</td> </tr> <tr> <td>松江市立八雲中学校</td> <td>上野 菜緒 さん</td> </tr> <tr> <td>隠岐の島町立都万中学校</td> <td>岡田 羽彩 さん</td> </tr> </table> <p>(2) <u>少年ボランティア団体に対する協力支援</u></p>	大田市立第一中学校	石田 椋乃 さん	松江市立八雲中学校	上野 菜緒 さん	隠岐の島町立都万中学校	岡田 羽彩 さん
大田市立第一中学校	石田 椋乃 さん						
松江市立八雲中学校	上野 菜緒 さん						
隠岐の島町立都万中学校	岡田 羽彩 さん						

	<p>少年の非行防止、健全育成並びに少年の社会参加活動等に取り組んでいるボランティア団体の会合や研修会の開催について、ブロック会議等に変更となり参加出来なかった。</p> <p>ア 少年補導委員連絡協議会総会・研修会 ～東・中・西部ブロックで開催</p> <p>イ 少年指導委員連絡協議会総会・研修会 ～書面教養で実施</p>
<p>6 長寿社会対策の推進</p>	<p>(1) <u>高齢者を対象とする特殊詐欺の被害防止(前掲)</u> 高齢者をターゲットにした還付金詐欺等に加え、架空請求など、新手の特殊詐欺により多額の被害が出ていることから、当会広報紙及びホームページ等で新手の詐欺についての注意を喚起したほか、ポスター・チラシ・被害防止ブックなど、時宜に応じて作成し、高齢者の集いや自治会等の場での活用に供するなどにより被害防止を啓発した。</p> <p>(2) <u>特殊詐欺撲滅対策官民連携会議における取組</u> ～開催縮小につき不参加</p>
<p>7 防犯功労者等の表彰</p>	<p>(1) <u>防犯功労団体及び功労者の表彰</u></p> <p>ア 防犯連合会会長・警察本部長連名表彰 永年にわたり、地域安全活動、少年の非行防止と健全育成活動等に功労のあった団体及び個人に対し、各警察署長から表彰状を伝達した。 防犯功労団体 城西地区地域安全推進員会 (松江市) ほか7団体 防犯功労者 仁村 博 氏 (松江市) ほか10名</p> <p>イ 警察庁長官・(公財)全国防犯協会連合会長連名等表彰 9月24日(木)東京明治記念館で開催された令和2年全国地域安全運動中央大会において受賞(いずれも自県で10/17伝達) 防犯荣誉金章 村松 憲 氏 (雲南市) 防犯荣誉銀章 永田 一芳 氏 (出雲市) 防犯荣誉銀章 廣田 保祐 氏 (益田市) 防犯荣誉銅賞 山本 善正 氏 (安来市) ほか5名 防犯功労団体 雲南あいあい劇団 (雲南市) 防犯ボランティア団体 津田地区地域安全推進員会 (松江市)</p> <p>ウ 中国管区警察局長・中国防犯連合会連絡協議会長連名表彰 防犯功労により次の方々が表彰された。 防犯功労者 高橋 成知 氏 (出雲市) ほか5名</p>

	<p>防犯功労団体 安来市地域安全推進員連絡協議会能義分会（安来市）</p> <p>(2) <u>中学生防犯作文入賞者の表彰(前掲)</u> 中学生防犯作文コンクールの優秀者の5名を防犯連合会長・警察本部長連名で表彰した。</p>
8 風俗環境浄化活動の推進	<p>(1) <u>風俗営業管理者講習の実施</u> 島根県公安委員会から風俗営業管理者講習業務を受託し同管理者に対して計11会場において講習を実施した。 実施状況は別記「風俗営業管理者講習実施状況表」のとおりであり、講習に当たっては、テキスト及び風俗環境浄化活動リーフレット等を調達し配布した。</p> <p>(2) <u>少年指導委員への協力助成 (前掲)</u> 風俗営業店や性風俗関連特殊営業店等に立入権限を有する少年指導委員の総会は中止となった。</p> <p>(3) <u>ぱちんこ遊技機に対する立入検査の実施</u> ぱちんこ店における不正行為の防止、健全化を図り、多くの客が安心して楽しめる環境を維持するため、島根県遊技業協同組合と協力し、ぱちんこ遊技機の立入検査を実施(年間)した。</p>
9 収益事業	<p>(1) <u>防犯資器材等の販売、斡旋</u> 子どもの安全対策、各種犯罪予防、ボランティア諸活動、地域安全運動等に資するための防犯カレンダー、防犯タスキ(腕章)懸垂幕、防犯読本、防犯ブザー、防犯標識ボール、古物標識、古物従業員証等の販売・斡旋事業を行った。 また、例年作成しているオリジナル図書カードは、「二学期始まる コロナに負けるな!安来市・伯太青色パトロール隊」と題した見守り活動の写真を背景に 「みんなでつくろう日本一安全であんしんな島根」をキャッチコピーとした図案により、安全で安心な地域づくりを呼びかけた。</p> <p>(2) <u>遊技機立入検査事業の実施 (前掲)</u> 平成26年4月1日、島根県遊技業協同組合と立入検査事業委託契約を締結し、県内のぱちんこ店 年間18日 66店舗 (1,180台)に対する立入検査を実施、契約を適正に履行した。</p>
10 公益法人としての適正な組織運営	<p>(1) <u>理事会・総会の開催</u> ○令和2年度第1回理事会 令和2年4月24日承認決議(書面表決) ・令和元年度事業報告及び計算書類並びに監査報告</p>

・令和2年度定時総会の招集 等

○令和2年度定時総会

令和2年5月15日承認決議(書面表決)

- ・令和元年度事業報告及び決算報告
- ・令和2年度事業計画及び予算
- ・役員の変更・選任 等

○令和2年度第2回理事会

令和2年5月27日承認決議(書面表決)

- ・会長、副会長、専務理事の選任 等

○令和2年度第3回理事会

令和2年9月18日承認決議(書面表決)

- ・新規事業への参画について
「特殊詐欺被害防止コールセンター」事業

○令和2年度第4回理事会

令和3年2月25日承認決議(書面表決)

- ・令和3年度事業計画及び予算(案) 等

(2) 財政基盤の確立

賛助会員の新規募集について、機関紙「防犯しまね」紙上で呼びかけたほか、事業所を訪問しての募集活動を行った。

また、一般寄付についても機会あるごとに呼びかけを行った。なお、個人・法人の賛助会費、寄付金については税制上の優遇措置が受けられる旨を会員に通知するとともにホームページ等を活用して広く県民に広報した。

【特別寄付】

- ・島根県自転車軽自動車商組合防犯協力会
- ・元青パト隊(宍道地域安全推進員会)隊長 仁村博 氏

※ 賛助会員～新規5 退会4 *3月末現在～242会員

別記

風俗営業管理者講習実施状況表（令和2年度）

実施日	講習会場	受講者 (営業種別)	実施日	講習会場	受講者 (営業種別)
6月2日 中止	安来市 安来警察署	名 (接待飲食)	9月17日	浜田市 浜田警察署	3名 (接待飲食)
6月15日 中止	西ノ島町 浦郷警察署	名 (遊技場)	9月18日	浜田市 浜田警察署	4名 (接待飲食) 3名 (遊技場)
6月16日 中止	隠岐の島町 隠岐の島警察署	名 (接待飲食)	10月5日	松江市 免許センター	11名 (接待飲食)
6月22日 中止	松江市 免許センター	名 (接待飲食)	10月16日	大田市 大田警察署	3名 (接待飲食) 1名 (遊技場)
7月2日 中止	雲南市 雲南警察署	名 (接待飲食)	10月23日	松江市 免許センター	2名 (遊技場) 1名 (特遊興) 7名 (遊技場)
8月27日	益田市 益田警察署	6名 (接待飲食) 5名 (遊技場)	10月29日	松江市 免許センター	10名 (遊技場) 3名 (遊技場)
8月28日	益田市 益田警察署	10名 (接待飲食)	11月5日	出雲市 出雲警察署	6名 (接待飲食) 3名 (遊技場)
9月8日	出雲市 出雲警察署	11名 (接待飲食)	11月12日	出雲市 出雲警察署	6名 (接待飲食) 1名 (特遊興) 4名 (遊技場)

接待飲食等営業 72名

特定遊興飲食業 2名

遊技場営業 26名

合計（11回）100名